

今日から始める 「エコドライブ」の実践

～気候変動の状況と対策～

令和8年度 安全運転管理者講習

富山県地球温暖化防止活動推進センター・デコ活ローカル

公益財団法人とやま環境財団

公益財団法人とやま環境財団について

身近な環境問題から地球規模までの幅広い環境問題の解決に向け、県民、企業、行政が一体となって地域に根ざした環境保全活動に取り組んでいくことを目的として、平成3年7月に設立。

考えは地球規模で、行動は足元から。
Think globally, act locally



【賛助会員】
法人等：366社・団体
個人：169人

協働推進事業

環境とやま県民会議、
県土美化推進県民会議の運営
みんなできれいにせんまいけ
大作戦の展開
市町村との環境パートナーシップの推進
食品ロス削減、豊かな地下水保全の推進 など



環境教育推進事業

とやま環境チャレンジ 10、
はじめてのエコライフ教室の開催
こどもエコクラブの支援
立山等での
自然解説の実施 など



普及・啓発事業

「とやま環境フェア」の開催
環境保全に関する相談対応
「とやまエコ通信」、
「エコノワとやま」による
情報発信など



デコ活
くらしの中のエコろがけ

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

地球温暖化対策
推進事業

(デコ活ローカルとしての活動)

地球温暖化防止活動推進センターの運営
地球温暖化防止活動推進員(デコ活推進員)の養成
脱炭素経営の支援
再生可能エネルギー導入の支援 など

エコアクション 21 地域事務局事業

エコアクション 21 認証・
登録業務の運営
自治体と連携した認証サポート
セミナーの開催 など



エコアクション 21

本日の内容

Part 1

気候変動の状況と富山県への影響

世界規模の気候変動問題と、富山県の環境、私たちの生活などに及んでいる身近なリスクを学びます。

Part 2

企業等に求められる脱炭素・環境経営

サプライチェーンからの選別や脱炭素・環境経営の推進など、企業・団体等の皆さんが取り組むべき対策について解説。

Part 3

富山県版・エコドライブの実践と効果

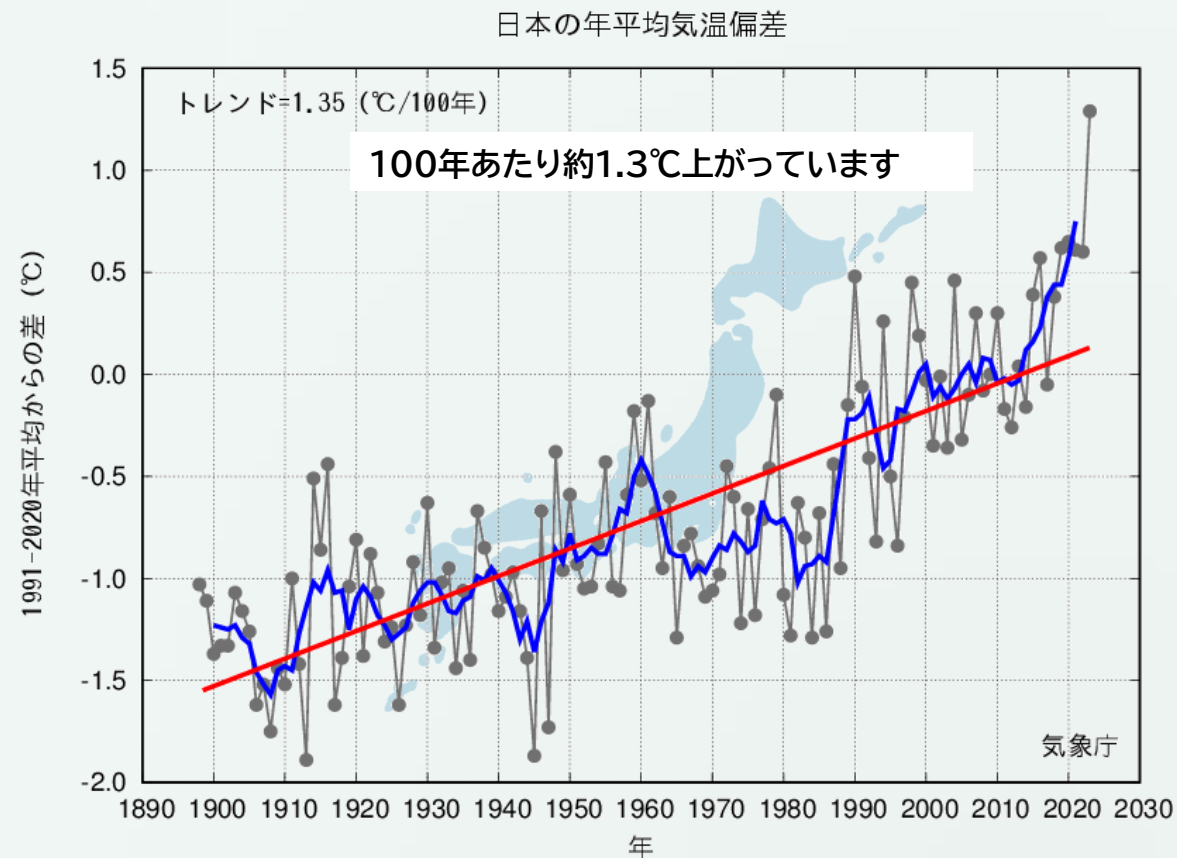
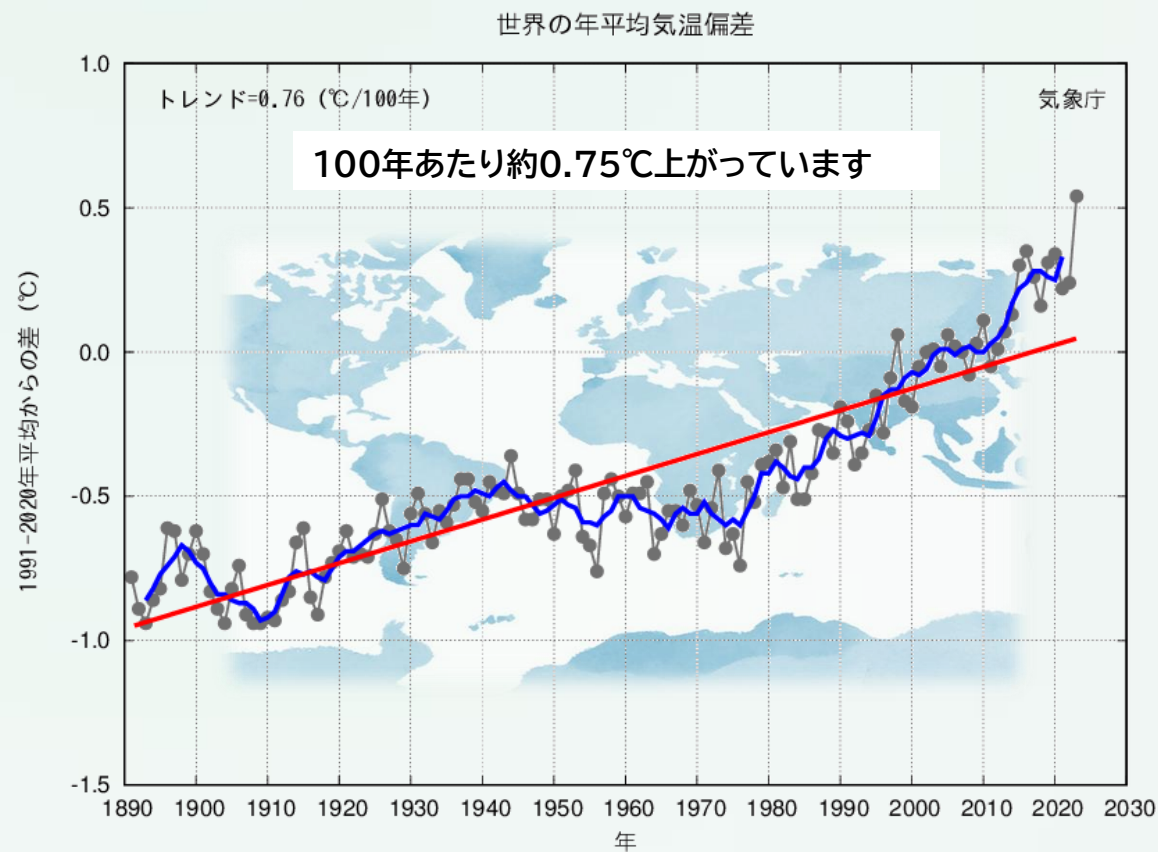
全国有数の車社会である富山県だからこそ効果絶大な、初期費用ゼロから始める脱炭素の取組み「エコドライブ」の実践について紹介。

Part 1：気候変動の状況と富山県への影響

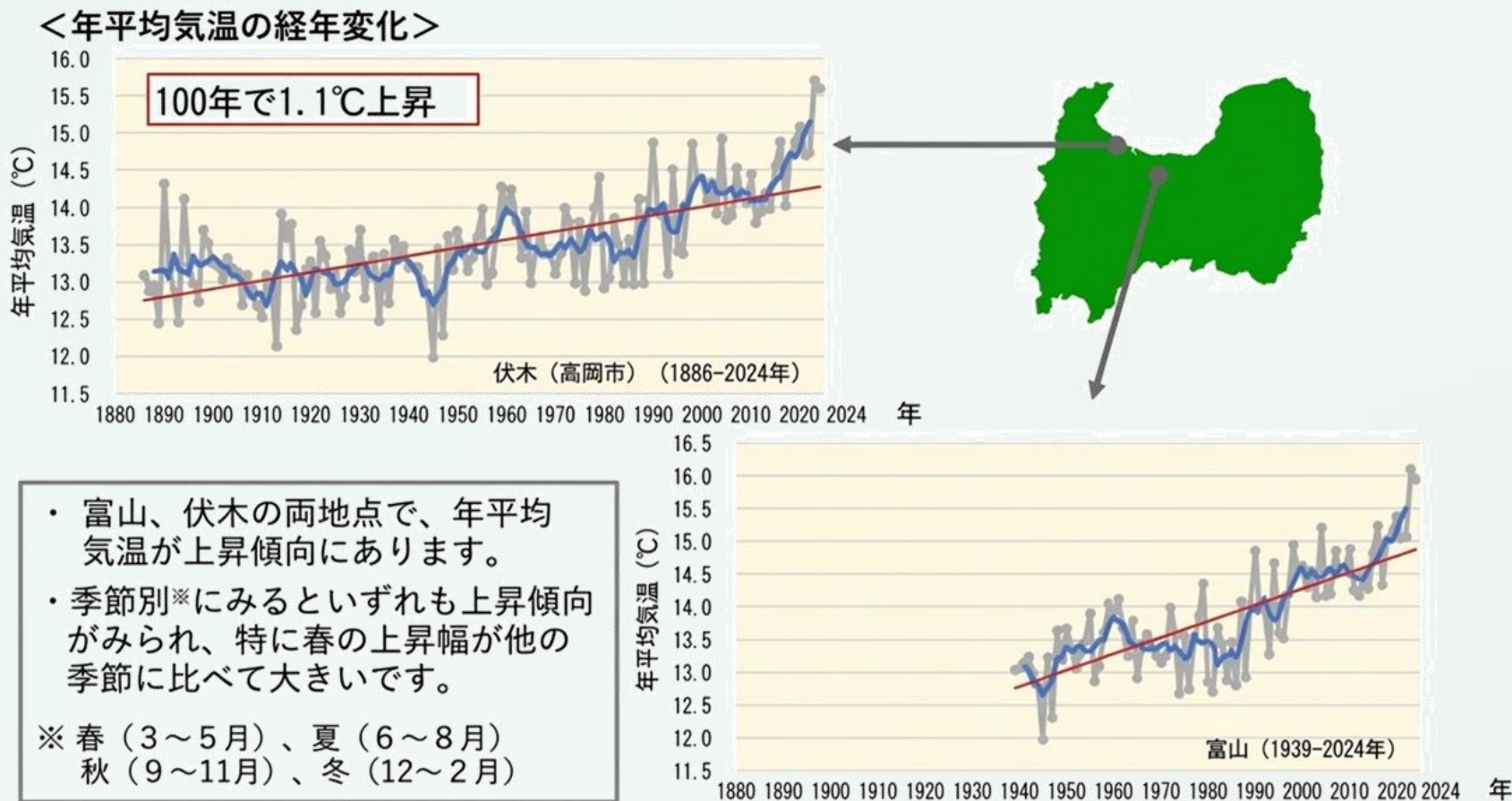
THE STATUS AND LOCAL RISKS OF CLIMATE CHANGE

世界と日本、富山県における気温上昇トレンド

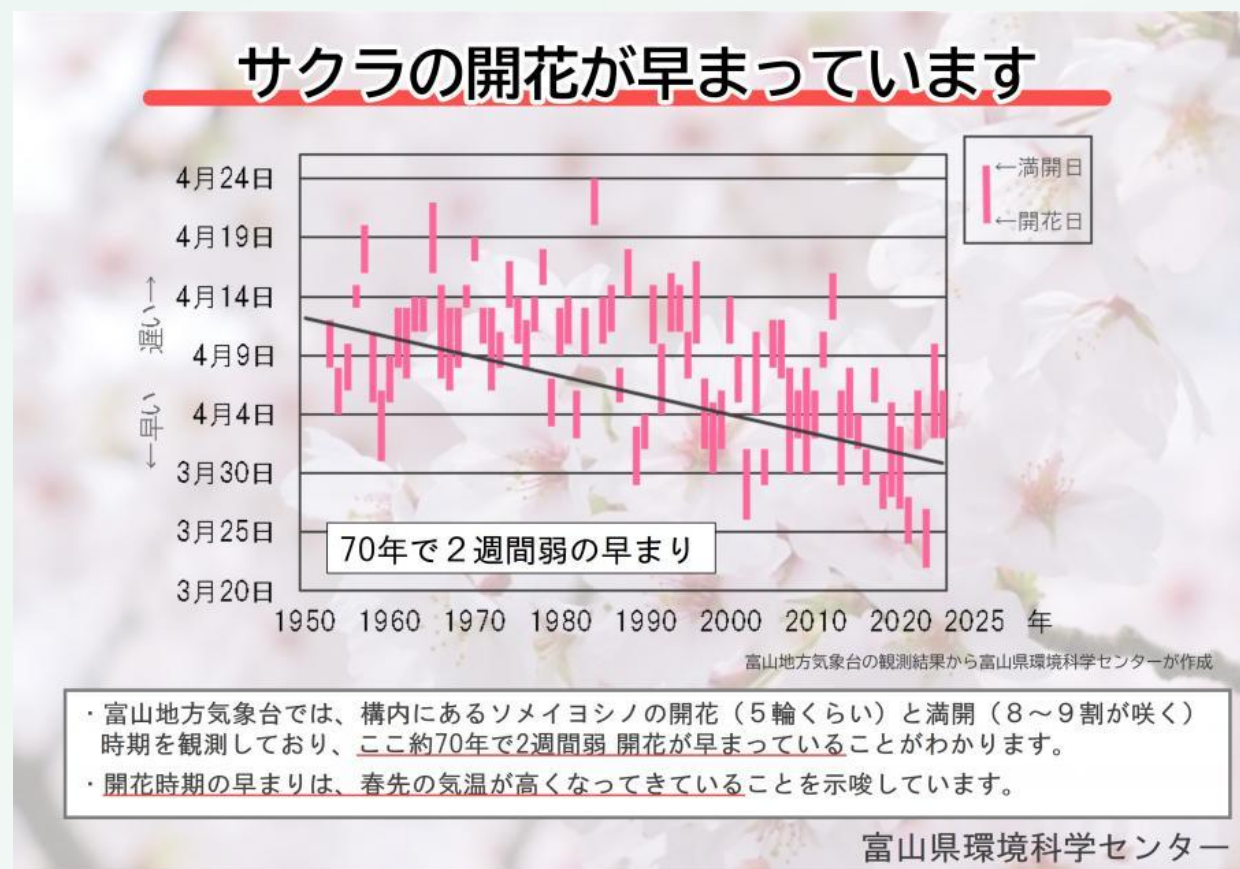
気温は上がっています



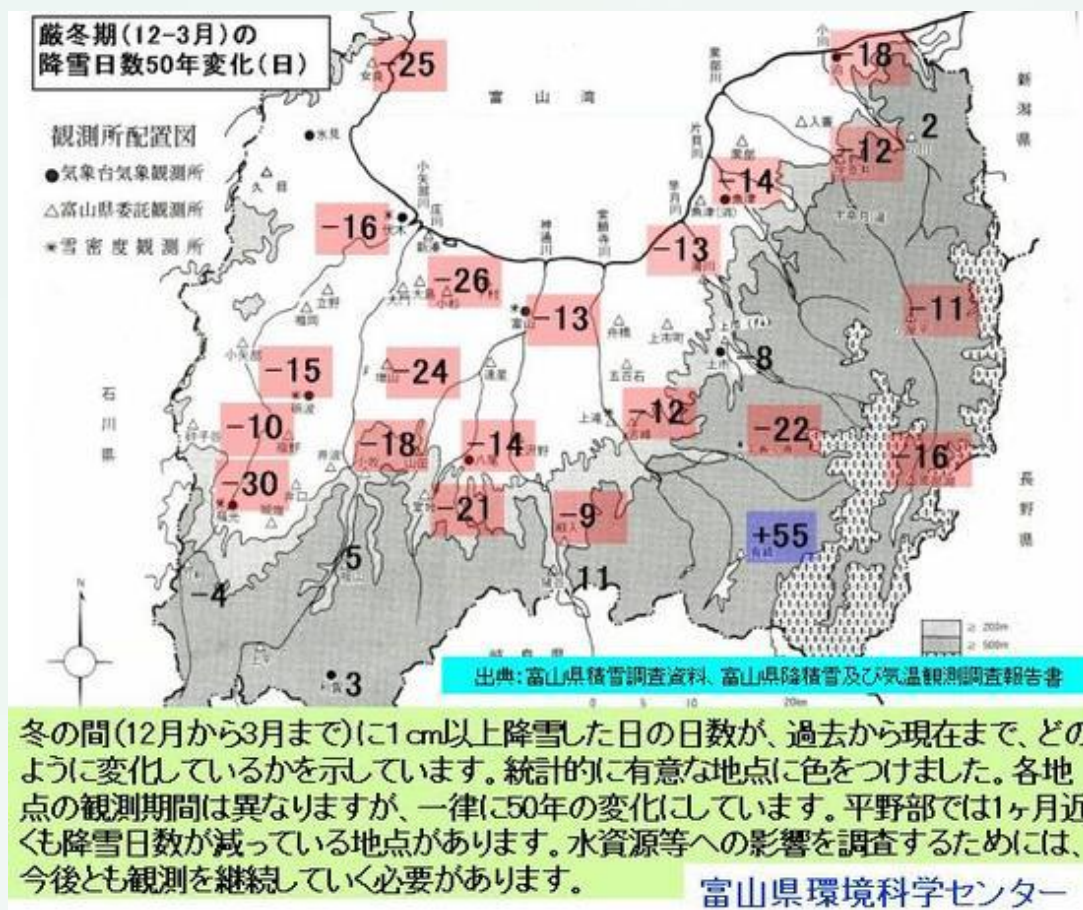
世界と日本、富山県における気温上昇トレンド



気候変動の影響 ～身近なところで何が起きている？～



気候変動の影響 ～身近なところで何が起きている？～



平野部では雪の降る日が減ってきています

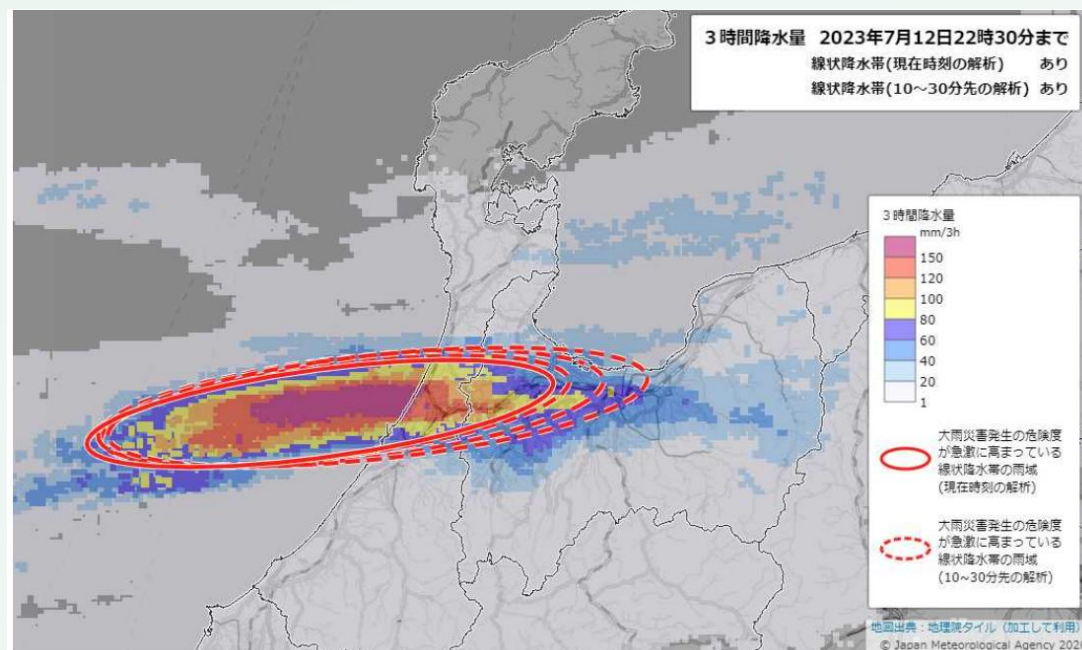
気候変動の影響 ～身近なところで何が起きている？～

一方で、記録的な大雪も…



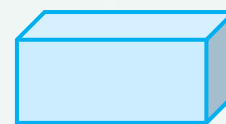
気候変動の影響 ～身近なところで何が起きている？～

線状降水帯の発生による大雨



顕著な大雨に関する富山県気象情報を補足する「線状降水帯」の表示
7月12日22時30分の「今後の雨」(3時間降水量)

地球温暖化によって
気温が上昇すると



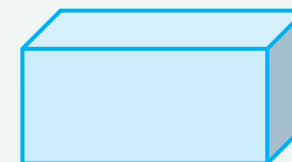
スポンジ(水を吸う)

水を含ませて
いっても…



中々一杯に
ならない
(雨が降らない)

飽和水蒸気量が増加
(大気中に含み得る「水」が増加)



温暖化⇒スポンジが大きくなる【仮定】
(水をたくさん含み得る)



いっぱいになったのを絞ると

大量の水
(大雨・短時間強雨)

富山県の暮らし・産業への具体的な気候リスク



激甚化する風水害

県内の急流河川、街なか用水などの氾濫リスク増大。製造工場や流通網の浸水被害による、物理的サプライチェーンの断絶。



降雪パターンの変化

全体的な降雪量は減少する一方で、「ドカ雪」と呼ばれる短期間の突発的豪雪が発生。通勤網の麻痺や除雪費用の高騰化を招く。



農林水産業への影響

夏季の高温によるコシヒカリの白未熟粒の発生、富山湾の海水温上昇に伴うブリなどの回遊パターン変化、サワラの急増等。

Part 2：企業等に求められる脱炭素・環境経営

THE ESSENTIAL REQUIREMENTS OF DECARBONIZATION MANAGEMENT

気温上昇を抑え込むための世界基準「1.5℃」

1.5 °C

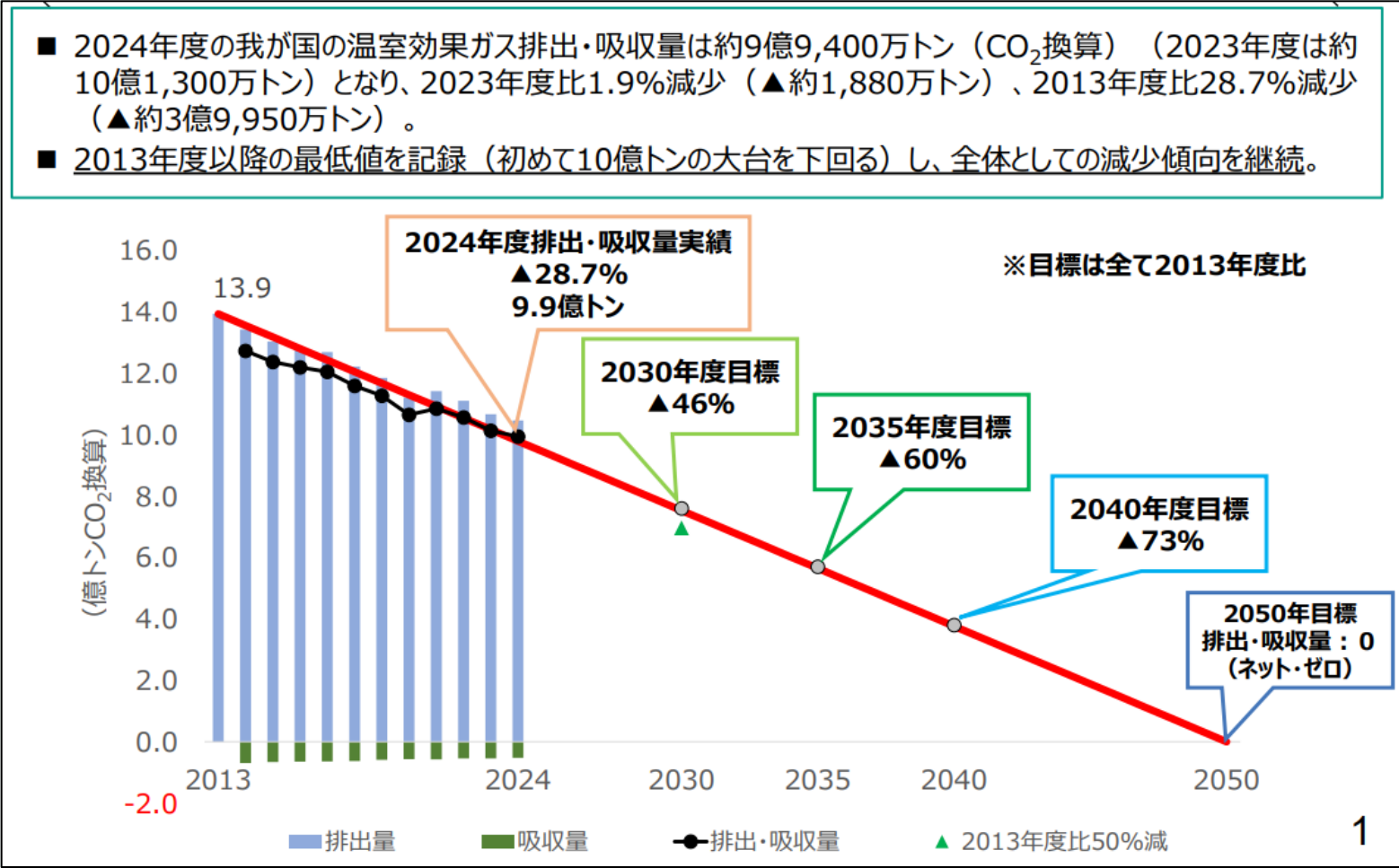
パリ協定での世界共通目標

一刻の猶予もないカーボンニュートラルへの移行

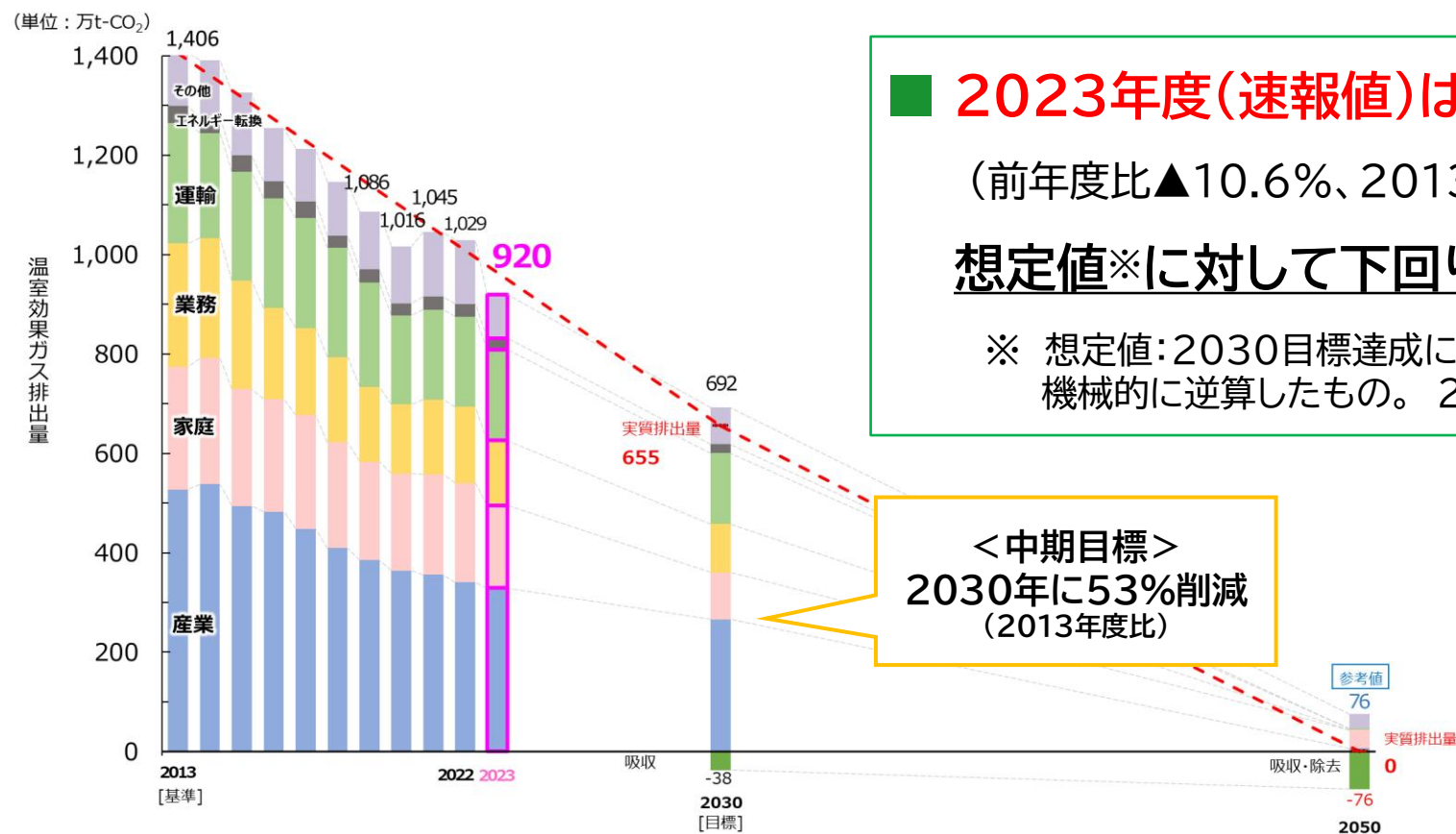
産業革命前からの地球平均気温の上昇を「1.5℃以内」に抑えるのが、致命的な気候破局を回避するための絶対的な防衛ラインです。

すでに世界では気温上昇が確認されており、対策の先送りはできません。日本政府も「**2030年度までに温室効果ガス46%削減、2050年までに実質ゼロ**」という高い削減目標を掲げています。

国全体の温室効果ガス排出量



富山県の温室効果ガス排出量



■ **2023年度(速報値)は、920万トン**

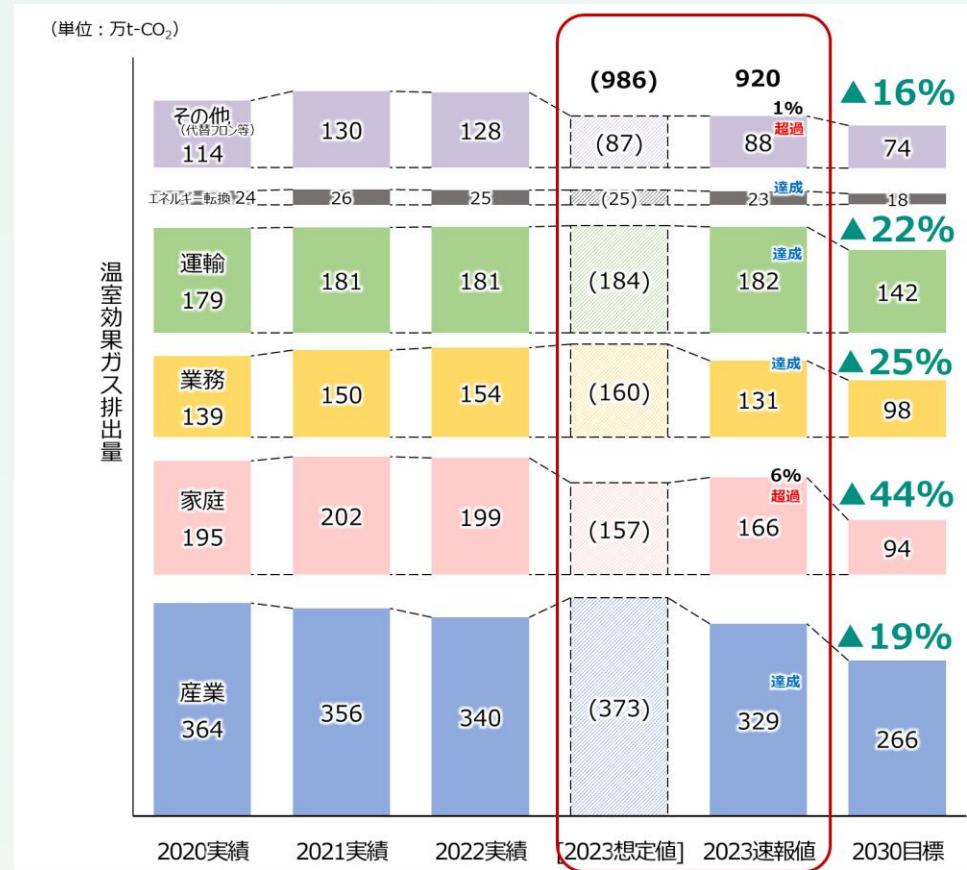
(前年度比▲10.6%、2013年度比▲34.6%)

想定値※に対して下回り、順調に推移

※ 想定値: 2030目標達成に向けて2023時点のあるべき姿を機械的に逆算したもの。2023年度想定値は986万トン。

<中期目標>
2030年に53%削減
(2013年度比)

富山県の温室効果ガス排出量



排出量削減の進捗		
運輸	△ (近年横ばい)	・自動車のエネルギー消費の削減が進んでいない。公共交通機関の利用促進や、低燃費自動車(電動車等)の導入等を一層進める必要。
業務	○ (順調に削減)	・物価高騰等の影響を受け節電や節約が進んだと考えられる。引き続き、建築物の省エネ化や省エネ設備・機器の導入を推進する。
家庭	× (6%未達)	・2030年度に向けて現状より44%の削減が必要。住宅の省エネ化や省エネ機器の導入など、対策の大幅強化が求められる。
産業	○ (順調に削減)	・順調に削減が進んでいるが、企業への脱炭素化要請がより高まっており、大企業だけではなく中小企業にもGX対応が求められている。

■ 目標達成まで全部門で44%~16%の削減が必要

脱炭素・環境経営実現に向けた主な対策



① 徹底的な省エネルギー化

LED照明への更新、高効率エアコンへの置換え、省エネ型製造施設の導入、不要な電気のこまめな消灯管理の徹底 など

初期投資：中～小

Scope 1



② 再生可能エネルギー導入

オフィスの屋根への自家消費型太陽光発電パネル導入、地下水熱利用、再エネ電気プランへの切替え など

初期投資：大～中

Scope 2



③ モビリティ（車）の改善

社用車のハイブリッド車（HV、PHV）や電気自動車（EV）への入替え、今ある車で「エコドライブ」の実践 など

初期投資：中～ゼロ

Scope 1&3

脱炭素・環境経営への移行がもたらすビジネスへの影響

⚠ リスクヘッジ（怠るリスク）

炭素税やペナルティの経済的負担：

CO₂排出量に応じた直接課税の強化

サプライチェーンからの除外：

元請け企業から脱炭素目標への適合を求められ、
対応できない場合は取引停止へ

↗ グリーン成長（取り組む価値）

受注・販路の拡大：

他社に先んじた取組みが強力な競合優位性になる

徹底したコスト削減：

燃料・電気消費を抑えて原価率を下げる

人材採用の優位性：

「環境貢献企業」として若い世代にアピール

Part 3：富山県版・エコドライブの実践と効果

TOYAMA ECO-DRIVING: ACTIONS AND REMARKABLE IMPACTS

自動車依存県・富山県における必然性

1 世帯あたり自家用乗用車普及台数

1.6台

全国都道府県のなかで 第3位

(台数は704,670台)

通勤も営業活動の移動も「車」が基本

富山県は優れた道路整備状況もあり、世帯ごとの複数台保有が当たり前。通勤や外回りの営業活動における「自動車への依存度」が高い地域です。

企業においても、社用車の燃料（ガソリン・軽油）コントロールは、他県の企業よりも「Scope 1の温室効果ガス削減」及び「原価・経費削減」におけるインパクトが大きくなると考えられます。

THE FIRST QUESTION

皆さんは普段、「エコドライブ」、「燃費」、「省エネ」を意識して車の運転をしていますか？

とやまエコドライブ10のすすめ

富山県推進：地球とお財布にやさしい10の運転習慣

1. スマートな運転技術

- ・ ふんわりアクセル「eスタート」：発進時は5秒で時速20kmを目安に緩やかに。
- ・ 車間距離を空けた安定走行：加減速の少ない運転で、無駄な燃料消費を抑える。
- ・ 早めのアクセルオフ：停止の際は早めに足を離し、エンジンプレーキを活用。

2. 日常の車両管理

- ・ タイヤの空気圧点検：空気圧が不足すると燃費が低下。こまめな点検が基本。
- ・ 不要な荷物の整理：100kgの荷物で燃費が約3%悪化。使わない荷物は降ろす。
- ・ エアコンの適切な使用：暖房時は原則スイッチオフなど、不必要な稼働を避ける。

3. 賢い計画とマナー

- ・ 自分の燃費の把握：日々の燃費管理が、エコドライブの意識と実感を高める。
- ・ 無駄なアイドリング停止：待ち合わせや荷降ろし時の不要なアイドリングを防ぐ。
- ・ 渋滞回避と計画的出発：出発前のルート確認で、無駄な迷走やアイドリングを削減。
- ・ 迷惑駐車防止：交差点や道路での迷惑駐車は、他車の燃費悪化や事故を招く。



» 富山の美しい環境を守り、お財布にも嬉しいエコドライブを。

01. ふんわりアクセル「eスタート」

最初の一步が最も大切。緩やかな発進で大幅な燃料カット。

▶ 基本アクション

発進するときは、アクセルを穏やかに踏み込み、**最初の5秒間で時速20km**に達する程度を目安に緩やかに加速します。

📈 期待される環境・燃費効果

発進時の急加速を防ぐことで、**約10%の燃費改善**につながります。これはエコドライブ10項目の中で最も燃料削減効果の高いアクションです。

📍 富山での実践のコツ

富山県の冬の雪道や、雨で濡れた滑りやすい路面において、緩やかな発進はタイヤのスリップを防ぎ、**燃費だけでなく走行安全性をも高めます。**



約10%

平均燃費の削減効果

01. ふんわりアクセル「eスタート」

最初の一步が最も大切。緩やかな発進で大幅な燃料カット。

ハイブリッド車の場合は、なるべくエンジン走行（燃料消費）ではなく**電気モーターでの走行を**



📍 ここをCHECK！

メーターパネル内のタコメーターやパワーメーター、EVランプを確認し、エンジンの回転状況を意識するようにしましょう。
タコメーターの回転数がゼロ、EVランプが点灯状態の継続を目指す！

※ メーターの注視しすぎは危険です。前方と周囲の確認
第一で、安全を確認しながらメーターの確認をお願いします。
(エンジン音も意識)

⇄ 02. 車間距離をあけた運転

車間を空ければ余計な加減速が減り、無駄な燃料消費をカット。

📌 基本アクション

前の車との間に十分な車間距離を確保します。先行車の細かいスピード変化に過剰反応せず、**一定の速度を保って巡航**します。

📈 期待される環境・燃費効果

無駄な加減速（アクセル・ブレーキの頻繁な踏み替え）が減ることで、**市街地で約2%、郊外では約6%の燃費向上**になります。

📍 富山での実践のコツ

通勤時間帯の主要道（国道8号線など）は交通量が多く、加減速が激しくなりがち。車間を空けて**穏やかに波を吸収**するように走るのがコツです。



2～6%

無駄な加減速防止による燃費改善

⇔ 02. 車間距離をあけた運転

車間を空ければ余計な加減速が減り、無駄な燃料消費をカット。

▶ **すぐ前の車（ブレーキランプ）だけを意識するのではなく、さらにその先も視野に。**

走行中、ブレーキを踏んで速度を落とす＝また燃料を使って速度を上げる必要がある、ということ。

一度得た速度をなるべくキープして巡行する、「前の車のブレーキランプが点灯したのですぐブレーキを踏む」は避けたい。

⇒ 点灯と同時にすぐ踏まないと怖い、危ない ＝ 「車間が狭い」



↔ 02. 車間距離をあけた運転

車間を空ければ余計な加減速が減り、無駄な燃料消費をカット。

INTERACTIVE DISCUSSION

皆さんは普段、「ブレーキを踏む」という行為を
どの程度意識して運転していますか？

選択肢①



ほとんど意識していない
(車を止める・速度を落とすのみ)

前の車の接近や赤信号に反応し、反射的にブレーキを踏む段階。「**速度調整の一手段**」としての**最小限の意識**に留まり、踏む回数やタイミングまでは意識していません。

選択肢②



同乗者への影響を意識
(減速G、安心感)

急激な揺れや車酔いを防ぐため、踏み込み方や抜きの技術を意識する段階。「**同乗者が不快に感じない減速G**」を作り出し、車内の快適性と優しく安全なドライブを両立します。

選択肢③



後続車への影響を意識
(ブレーキランプ・交通の流れ)

自分のブレーキランプの点灯が後続車に与える連鎖反応を考える。十分な車間距離を取り**不要なランプ点灯を減らす（先読み）**ことで後方の無駄な渋滞発生を未然に防ぎます。

「上手な運転」の真実。

ブレーキを踏まないこと（踏まなくてよい運転）こそ
究極のスマートドライブ （…諸説あり）



圧倒的な先読みと安全マージン

十分な車間距離と道路の先を見据えた予測運転が、無駄な減速を防ぎ、あらゆる事故リスクを極限まで低減します。



揺れない、ファーストクラスの快適性

なめらかな加減速は同乗者に「走っていることすら忘れさせる」ほどの快適な移動体験を提供します。



極めて高い経済性とエコロジー

加減速のロスをなくすことで、燃費が劇的に向上。タイヤやブレーキパッドの摩耗も最小限に抑えます。



▶ 03. 早めのアクセルオフ

慣性走行と燃料カット機能を賢く使いこなすエコの極意。

📌 基本アクション

信号の手前や交差点、停止することがあらかじめ分かっている状況では、**早めにアクセルペダルから足を離し、エンジnbrakeキで減速**します。

📌 期待される環境・燃費効果

エンジnbrakeキ作動中は**燃料の供給がストップ（燃料カット）**するため、**早めにオフにするだけで約2%の燃料が節約**できます。

📍 富山での実践のコツ

富山は平野部だけでなく、立山山麓や里山に向かう緩やかな傾斜地が多くあります。**下り坂を見越した早めの減速**を意識すると効果大です。



約2%

燃料自動カットによる効果

▶ 03. 早めのアクセルオフ

慣性走行と燃料カット機能を賢く使いこなすエコの極意。

CHECK

なるべく早い段階で「この先で停止しなければならない」状況を把握し、アクセルオフ
いずれ停止するのであれば、加速に費やす燃料はすべてムダということ



+ ONE POINT!

惰性又はエンジンブレーキで車速調整していれば、タイミングよく
進行方向の信号が青に変わる可能性もある

⇒ 完全停止することなく再加速できる！
(ゼロ発進する場合と燃費は雲泥の差！)

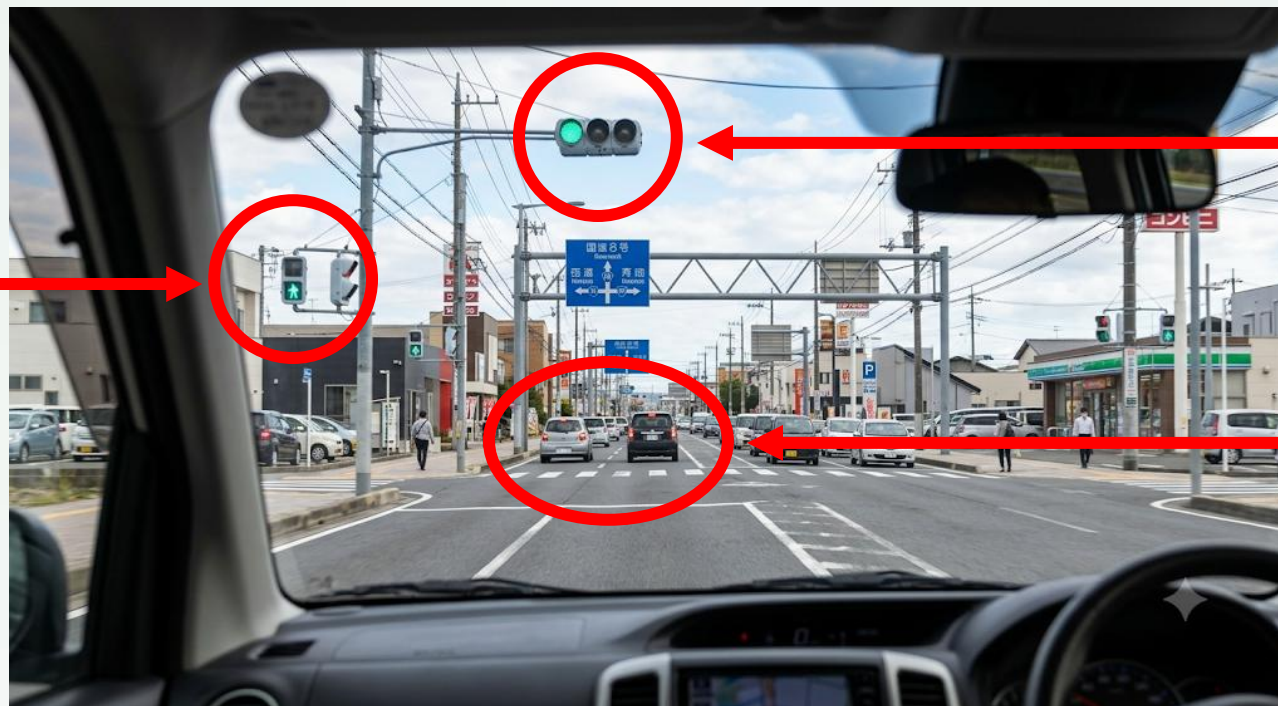
ただし、後続車も
意識して安全に

▶ 03. 早めのアクセルオフ

慣性走行と燃料カット機能を賢く使いこなすエコの極意。

INTERACTIVE DISCUSSION

皆さんは普段、交差点に進入する（近付いていく）際
どこ（なに）を意識して運転していますか？



③

進行方向の歩行者信号

①

進行方向の信号

②

前方の車

▶ 03. 早めのアクセルオフ

慣性走行と燃料カット機能を賢く使いこなすエコの極意。

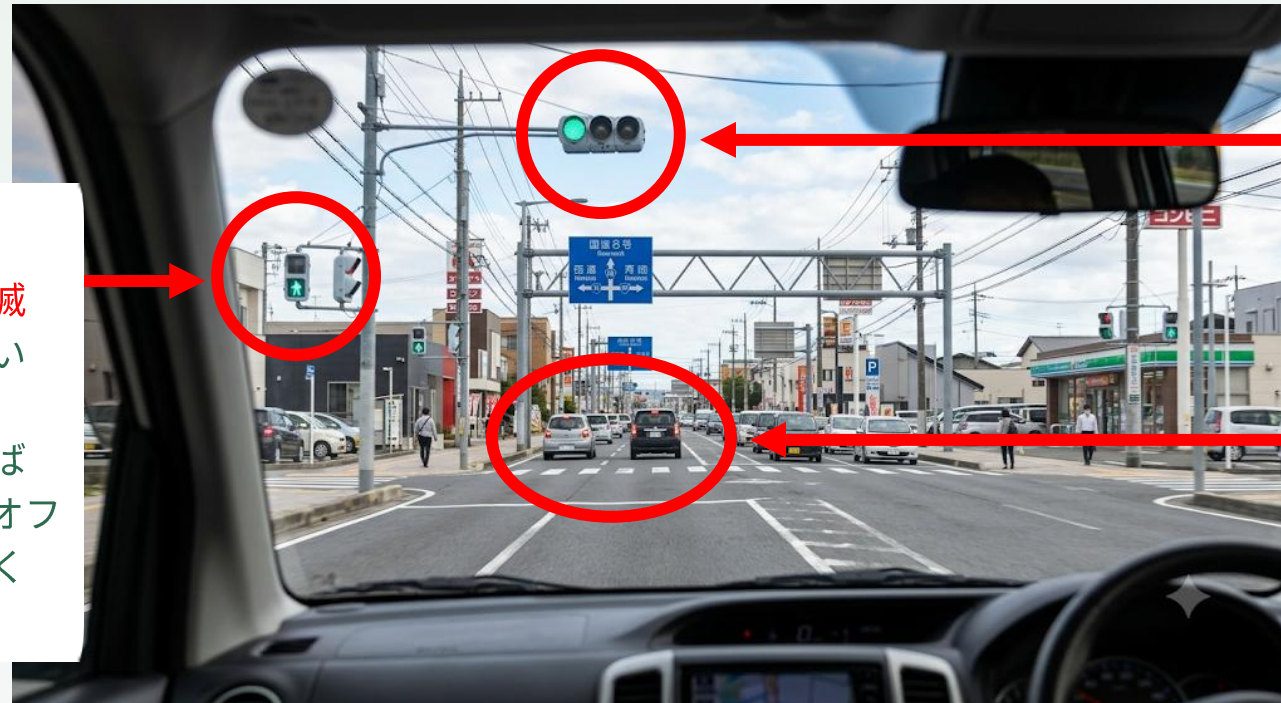
CHECK

エコドライブの観点ではここを意識したい！
(慣れ親しんだ道、走り慣れた道こそ腕の見せどころ)

📍 実はかなり重要！？

進行方向の歩行者信号の点滅
車道信号の赤に間に合わない
場合は即アクセルオフ

※ 交差点で停止しなければ
ならない状況（アクセルオフ
のタイミング）を最も早く
察知できる



📍 エコドライブとは 無縁？

ただし、信号のパター
ンを記憶すれば強力！

📍 重要な情報！

前方車のつまり具合で
車速を調整
渋滞に気付けば即アク
セルオフ

❄ 04. エアコンの適切な使用

冷房（A/C）は必要なときだけON。暖房時の不要なスイッチをOFFに。

▶ 基本アクション

車の暖房はエンジンの排熱を利用するため、エアコン（A/C）スイッチは不要です。A/Cボタンは冷房や除湿（ガラスの曇り取り）が必要な時だけONにします。

📈 期待される環境・燃費効果

不要なA/CスイッチをOFFにすることで、車載コンプレッサーの作動によるエンジン負荷を減らし、燃費が改善することがあります。

📍 富山での実践のコツ

富山の春先や晩秋・冬は暖房を多用しますが、基本は「A/Cオフでファンだけを回す」ことで十分暖かくなり、燃料の無駄を排除できます。



約12%

A/C適正使用による燃費改善

🔌 05. 無駄なアイドリングのストップ

たった10秒のキーオフでも大きな差。大気と財布を綺麗に。

🔍 基本アクション

荷物の積み降ろしや、お迎えなどの待ち合わせ、コンビニ等でのわずかな停車時でも、**エンジンをかけたままにせず小まめにOFFにします。**

📊 期待される環境・燃費効果

ニュートラルに入れた状態のアイドリングであっても、**10分間で約130ccのガソリンを消費し、無駄な温室効果ガスを排出してしまいます。**

📍 富山での実践のコツ

寒い朝の「長時間の暖気運転」は不要です。エンジン始動後は、数秒待ってから**最初の数分間を緩やかに走行する（走行暖機）**のが最適解です。



約130cc

10分間の停止で節約できるガソリン量

📍 06. 渋滞を避けた運転

ルート選びとゆとりある時間計画。迷走しないスマート移動。

🎯 基本アクション

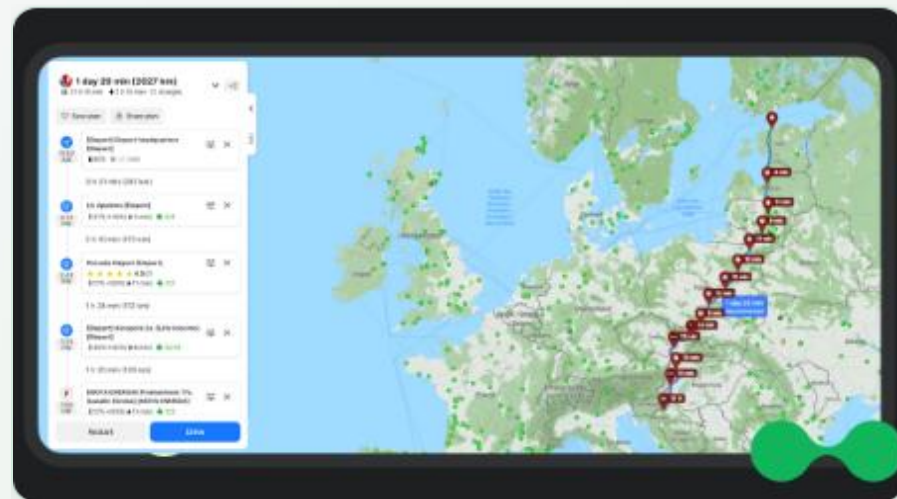
出発前に渋滞情報や最適なルート情報をカーナビ・スマートフォンでチェック。ゆとりを持ったスケジュールで混雑を避けて出発します。

📈 期待される環境・燃費効果

道に迷って1時間のドライブで10分余計に走ると、約17%の燃料を無駄に消費してしまいます。スムーズな移動は最も効率的なエコ活動です。

📍 富山での実践のコツ

富山県内の主要な通勤道路は決まっているため、ラジオの交通情報やマップのリアルタイム遅延アラートを事前に確認して**回避ルートを設定**するのが賢明です。



約17%

道迷い10分での燃料ロスを防ぐ

07. タイヤの空気圧のこまめな点検

タイヤの「つぶれ」は走行の敵。月1回の定期的な空気圧確認。

▶ 基本アクション

気が付かないうちに少しずつ減っていくタイヤの空気圧。月に一度を目安に、ガソリンスタンド等で**適正空気圧**に調整します。

📈 期待される環境・燃費効果

空気圧が適正值より50kPa (0.5kg/cm²) 不足すると、道路の摩擦抵抗が増え市街地で約2%、郊外で約4%燃費が低下します。

📍 富山での実践のコツ

富山県民にとってお馴染みの「冬用タイヤ（スタッドレス）」への換装時期だけでなく、日常のセルフ給油時に「**月1点検**」をルーティン化しましょう。



2~4%

空気圧不足による余分な燃料消費を防止

〇 07. タイヤの空気圧のこまめな点検

タイヤの「つぶれ」は走行の敵。月1回の定期的な空気圧確認。



おさいふにも
環境にもやさしい

低燃費タイヤ de デコ活



ガソリン価格高騰の今こそ!!

エコタイヤで **2%** 燃費が改善すると…

ガソリン代が4円/L
値引きされたのと同じ!

3年で約9,000円お得!
1年で約3,000円

【試算条件】月平均:1,000km、年間:12,000km、平均燃費15km/Lで計算





ここに注目!

良 転がり抵抗性能が **A以上** が低燃費タイヤです。

 低燃費タイヤ		AAA	AA	A	B
		a	b	C	d

グレードが1つ上がると、
燃費が1%改善!
(※タイヤ公正取引協議会の実証試験より推計)

良 ウェットグリップ性能は4段階で表示されます。

 富山県

業界団体さんにおいて
各種助成事業をお持ちの場合
がありますので
ご確認ください。

08. 不要な荷物は降ろす

車のダイエットで負荷軽減。トランクの中身を今一度リセット。

基本アクション

降ろし忘れていた荷物や不要なレジャーグッズ、仕事の重い資材など、使わない荷物はトランクや後部座席から降ろして車を軽くします。

期待される環境・燃費効果

荷物が100kg重くなると、エンジンに余分なパワーが必要となり、燃費が約3%悪化。不要なルーフキャリアも空気抵抗を増やす原因です。

富山での実践のコツ

冬が終わったのにタイヤチェーンや重いスノーシャベル、冬用レジャー品を載せたままにいませんか？季節ごとの車両整理が重要です。



約3%

100kgの荷物を降ろした時の改善度

🏠 08. 不要な荷物は降ろす

足回りの軽量化が、走りの質感、安全性、効率性を劇的に変える。

📌 ばね下重量とは？

サスペンション（スプリング）より下部に位置するパーツの総重量（タイヤ、ホイール、ブレーキ、ハブ、アーム類など）。車体やエンジンなどの「ばね上重量」と対比され、車両の運動特性を決定付ける重要ファクターです。

「ばね下1kg」の軽量化効果

10倍

ばね下重量の1kgの削減は、車体側（ばね上）をおよそ10kg軽量化することに匹敵するといわれ、人間の足元に例えるなら「重い鉄下駄から軽量スニーカーへの履き替え」に相当します。

- ⚡ 運動性能と燃費の向上
- 🏠 路面追従性の向上



🚫 09. 走行の妨げとなる駐車はしない

1台の迷惑駐車が引き起こす、周囲の車の減速・加速・渋滞。

📍 基本アクション

交差点付近や幹線道路上での「少しでもなら」という違法・迷惑駐車をやめ、定められた駐車場を利用します。

📈 期待される環境・燃費効果

迷惑駐車による他車の不必要なブレーキ、車線変更、立ち上がり急加速など、連鎖的に周辺他車の燃費を悪化させる原因を防ぎます。

📍 富山での実践のコツ

道幅が比較的広い富山県内でも、路上に車を置くことで交通全体の流れが妨げられ、危険度が増します。社会全体でのマナー向上がエコのベースです。



社会全体

交通の流れを整え事故とロスを解消

⑩ 10. 自分の燃費を把握する

「みえる化」が最大のエンジン。成果を確認して楽しく継続。

▶ 基本アクション

給油の際に走行距離と給油量から実燃費を計算したり、車のメーターに搭載されている**平均・瞬間燃費モニターの数値を日頃から確認**します。

📈 期待される環境・燃費効果

自分の実質的な運転成果が「みえる化」されることで楽しさや目的意識が高まり、結果として**平均して10%前後の燃費改善行動の定着**に寄与します。

📍 富山での実践のコツ

県・公益財団法人とやま環境財団では「エコドライブシミュレーター」の貸出し、体験会を行っています。**楽しみながら実践してみましょう。**



約10%

燃費の把握がもたらす自主的改善効果

とやまエコドライブ10のすすめ

富山県推進：地球とお財布にやさしい10の運転習慣



いいこと いっぱい みんな幸せ

デコ活
お金のエコライフ

今日もエコドライブで行こう!

燃費
燃費が
10%アップ!

環境
CO₂排出量
10%削減!

安全
事故件数が
半分に!

156円/Lの
ガソリン代が
140円/Lに
なるのと同じ!

冬タイヤ交換時の
空気圧チェックも
忘れずに!



Let's Challenge!

①発進
ふんわりアクセル
[eスタート]
ふんわり

②走行
車間距離にゆとりを
もって、加速・減速の
少ない運転
ゆとり

③停止
減速時は早めに
アクセルを離そう
ゆとり

さらに
タイヤの空気圧から
始める点検・整備
空気圧
チェック

エコドライブ10のすすめ 詳しくはコチラ ⇒ とやまエコドライブ 検索

富山県

1 出発前のポイント

渋滞を避け、
余裕をもって出発しよう
1時間のドライブで10分間道に
迷うと17%程度燃料消費増加

タイヤの空気圧から
始める点検・整備
空気圧
チェック
タイヤ
交換時も
忘れずに!
空気圧不足で
2~4%程度燃費悪化

不要な荷物は
おろそう
荷物100kgで
3%程度燃費悪化

2 運転中のポイント

ふんわりアクセル
[eスタート]
ふんわり
最初の5秒 時速20km
10%程度燃費改善!

車間距離にゆとりをもっ
て、加速・減速の少ない運転
ゆとり
ムダな加速・減速で
2~6%程度燃費悪化

減速時は早めに
アクセルを離そう
エンジンブレーキの活用で
2%程度燃費改善!

さらにワンポイント!
エコドライブ支援
ツールを使おう
エコドライブ
ランプが
点灯するよう
に運転しよう
エコドライブ
スイッチを
ONにしよう
※メーカーによって名称は異なります。

3 さらにチャレンジ

エアコンの使用は
適切に
暖房は
OFF
冷房・除湿は
ON
冷房・除湿が必要ときはON
暖房のみのときはOFF

ムダなアイドリングは
やめよう
STOP
10分間のアイドリングで
130cc程度燃料消費
(エアコンOFFの場合)

走行の妨げとなる
駐車はやめよう

自分の燃費を
把握しよう
燃費
7km/L

ハイブリッド車・電気自動車のポイント
モーターをできるだけ活用しよう!

発進と加速はモーターの
得意分野
(ハイブリッド車のみ)

ゆっくり発進
<ぐっと加速>
40
アクセルを
一旦緩める

モーターの得意領域
早めのアクセルオフ後、
軽くブレーキを踏んで発電
ブレーキは発電のチャンス
モーターが発電機に!

提供省「COOL CHOICE」ウェブサイト「<https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/>」のコンテンツを使用しています。

🍃 その他、モビリティ関係の取組み

環境省を中心に様々な取組みを展開中。

🚶➡️ ① スマートムーブ (smart move)

「COOL CHOICE」の一環として、日々の移動に注目した国民運動。
「公共交通」「自転車・徒歩」「エコドライブ」「シェアモビリティ」を賢く組み合わせた環境負荷の低い選択を呼びかけています。

🚗 ② ゼロカーボンドライブ (Zero Carbon Drive)

「再生可能エネルギー100%の電力」と「電動車 (EV/PHEV/FCV)」を掛け合わせることで、ライフサイクルにおける走行時のCO₂排出量を実質ゼロにする持続可能なライフスタイルを提唱。

🌿 ③ デコ活 (Decarbonization + Eco)

エコドライブや上記の取組みをひっくるめた「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」のこと。



🌿 気候変動に対する2つの対策

緩和とは？

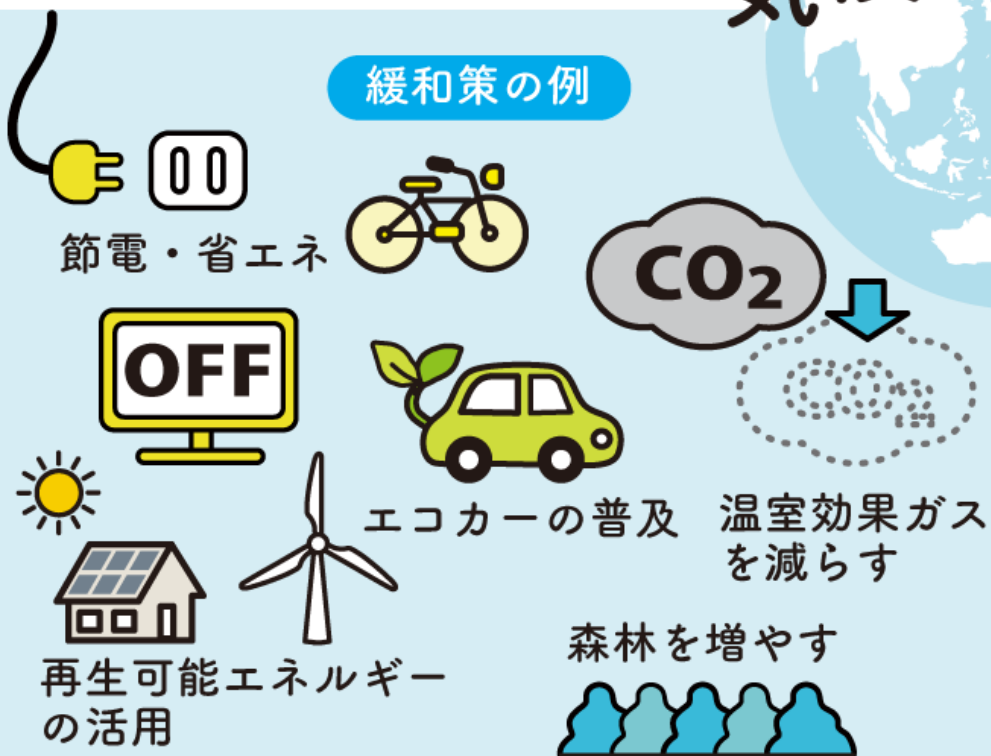
原因を少なく

2つの 気候変動対策

適応とは？

影響に備える

緩和策の例



適応策の例



「エコドライブ」の実践が 富山県の、県民の皆さんの未来を変える！

脱炭素に向けた第一歩は、車に乗り込んでキーを回した（Startボタンを押した）、その瞬間の意識から。
一人ひとりの穏やかな運転が、経済性と富山の美しい環境を守ることの強固な基盤になります。

まずは本日お帰りの際の運転から、明日の朝から実践してみましょう！
くれぐれも安全第一で。
ご清聴ありがとうございました。

富山県地球温暖化防止活動推進センター・デコ活ローカル

公益財団法人とやま環境財団